

総合実習Ⅱ

科目ナンバリング SPS-317

選択 1単位

佐保 泰明・松永 悠希

1. 授業の概要(ねらい)

アスレティックトレーナーの活動であるスポーツコンディショニングやアスレティックリハビリテーション、トレーニング指導などを実際のスポーツ現場で行えるよう実習を行う。

特にこの授業では、ここまでで学んできた知識と実習を、実際の実習現場で、適切に実践できるようにする。また、ここまでの活動や症例を発表できるようにする

※2年次のスポーツ現場実習Ⅰ、3年次スポーツ現場実習Ⅱ～Ⅳを修得していることを単位認定の条件とする。

2. 授業の到達目標

- ・アスレティックトレーナーとして総合的に活動することができる
- ・症例や活動を適切に報告することができる

3. 成績評価の方法および基準

実習への参加意欲・活動(40%) レポート(40%) 報告会発表(20%)

4. 教科書・参考文献

教科書

『日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト①アスレティックトレーナーの役割』 日本スポーツ協会

『日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト②運動器の解剖と機能』 日本スポーツ協会

『日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト③スポーツ外傷・障害の基礎知識』 日本スポーツ協会

『日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト④健康管理とスポーツ医学』 日本スポーツ協会

『日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑤検査・測定と評価』 日本スポーツ協会

『日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑥予防とコンディショニング』 日本スポーツ協会

『日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑦アスレティックリハビリテーション』 日本スポーツ協会

『日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑧救急処置』 日本スポーツ協会

『日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑨スポーツと栄養』 日本スポーツ協会

5. 準備学修の内容

教科書・参考書を用いてトレーナーに必要な知識や技術、資質などについて事前学習しておくこと。スポーツ現場に入る前に、現場実習のルールやマナー、心構えなどについて再確認しておくこと。

6. その他履修上の注意事項

スポーツ現場に入る前に参考書を用いてトレーナーに必要な知識や技術、資質などについて学習し、実習に意欲的に取り組むこと。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンスほか
- 【第2回】 ATの役割
- 【第3回】 現場に必要な解剖学について
- 【第4回】 現場に必要なスポーツ外傷について
- 【第5回】 現場に必要な健康管理
- 【第6回】 現場に必要な検査・測定と評価
- 【第7回】 現場に必要な予防とコンディショニング
- 【第8回】 現場に必要なアスレティックリハビリテーション
- 【第9回】 現場に必要な救急処置
- 【第10回】 現場に必要な栄養学
- 【第11回】 競技特性を考えたトレーナー活動
- 【第12回】 競技の傷害傾向やその予防策
- 【第13回】 症例を考える
- 【第14回】 現場でのトレーナー活動を考える
- 【第15回】 発表と総評